

平成27年度 林産物の輸出拡大方針

平成27年1月

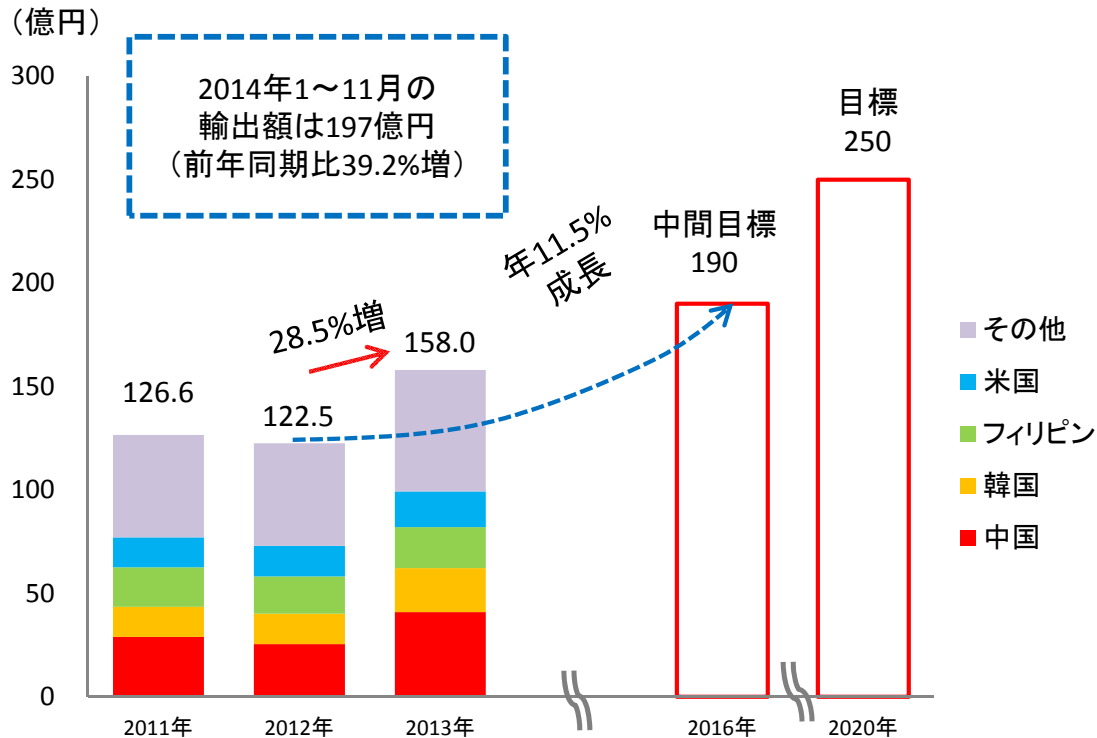
農林水産省

平成27年度 林産物の輸出拡大方針

林産物^{*}のオールジャパンでの輸出拡大に向けて、林産物輸出の全国団体が、農林水産省、林野庁及びJETROからの各種支援等を活用し、林産物の海外における新たな需要を開拓するための調査を実施するとともに、産地間連携体制の構築を推進するほか、海外におけるジャパン・ブランドの確立を目的として、付加価値をつけた日本産木材製品や木造軸組住宅のPR等の実施、中国の木構造設計規範への対応などの輸出環境整備に取り組む。

※ ここで言う林産物は、丸太及び木材製品を指す。

輸出の現状



重点国・
地域

中国、韓国

平成27年度 林産物の輸出拡大方針

輸出戦略上の対応方向※

輸出拡大方針

中国「木構造設計規範」の改定及びこれを踏まえた普及等の取組

【中国「木構造設計規範」への対応】

- 引き続き中国「木構造設計規範」の改定や手引き作成の取組を進める。また、これと並行して、中国における木材の用途やニーズ・嗜好等を踏まえつつ、付加価値をつけた日本産木材製品の輸出を拡大するため、木材利用技術の普及、日本の技術を活かした製品開発、木造軸組住宅のPR活動等を行う。

韓国におけるヒノキを中心とした内装材市場の更なる拡大

【韓国市場の更なる拡大】

- 韓国におけるヒノキを中心とした内装材市場の更なる拡大に向けて、広域連携やオールジャパンの取組の加速化に向けた議論を行う。
- ジェットロは、韓国のキョンヒャンハウジングフェアにジャパンパビリオンを出展し、商談を支援する。この際、付加価値をつけた木材製品の輸出を拡大するため、これらの製品を扱う輸入業者やハウスメーカー等の発掘に努める。

協力ネットワークの構築、情報収集、情報発信（全国団体を通じたオールジャパンでの取組、ブランド創り）

【オールジャパンのネットワークの構築、情報収集・発信】

- オールジャパンの協力ネットワークの構築や、ジャパン・ブランドの創出、情報収集・発信に向けた議論を行う。
- 丸太だけでなく、付加価値をつけた木製品の輸出を拡大するため、これらの製品を扱う輸入業者やハウスメーカー等の発掘に努める。また、事業者等が輸出先国から求められる樹種、規格、数量、時期等のニーズに対応できるようにすることを目的として、木材輸出に関する制度や海外市場についての理解促進を狙ったセミナー等を開催する。

森林組合や産地間連携による共同輸出、安定供給体制の構築

【産地間連携体制の構築】

- 産地間連携による共同輸出、安定供給体制を構築するため、中国・韓国における木材の用途やニーズ・嗜好等を踏まえて輸出拡大のターゲットを設定し、広域連携やオールジャパンの取組を加速化するための議論を行う。
- コスト面でのネックとなっている中国向け丸太及び未乾燥材の燻蒸について、中国での輸入木材燻蒸の状況を把握する。

モデルハウスの設置等による通年でのPRによる日本産木材、住宅の認知度向上

【日本産木材のPR】

- 日本産木材や木造軸組住宅の認知度向上に向けて、モデルハウスの設置等による通年でのPRを実施する。この際、対中国の木材輸出拡大の先進的な取組を参考にして、輸出のターゲットを明確にして（戸建て・マンション内装、富裕層・中間層など）、戦略的に取組を進めて行く。また、住宅、家具、インテリアなどの事業者と日中共同で検討会を設置し、付加価値ある日本産木材製品の開発・普及を図る。